

スポーツ・伝統芸能・体験イベント… 大型連休 頑張る子ども

大型連休も終盤。帰省客や行楽客で県内の観光地がにぎわう中、スポーツで体を鍛える子どもや、地域の伝統芸能や催事を支える側に回ったり、各種体験イベントで学んだりする子どもたちもいた。今日は「こどもの日」。元気いっぱい頑張る子どもたちの表情を集めた。

4日に佐久市で開いた「佐久鯉マラソン大会」のファミリーの部では、応援を受けた子どもたちがスタートから元気よく飛び出し一緒に走った大人たちもびっくり。小学6年男子の部で1位になった長野市の越陽汰君(11)は「後ろが迫って気になったけれど、タイムも良かったので満足」とうれしそうだった。

3日に約1100人の観客を集めて開いた下伊那郡大鹿村の「大鹿歌舞伎」公演には、大鹿小学校の9人が役者として出演し、地元で伝わる伝統芸能を支えた。初めて演じた多田結夏さん(9)は「緊張で倒れそうになったけど、しっかりできました。大人になっても続けていきたい」と初舞台を振り返っていた。



園児や小学生を対象にした「元気くんサッカー教室」でボールを奪い合う子どもたち。4月29日、長野市の犀川第2緑地市営サッカー場